授業科目	精神保健福祉の原理Ⅱ					実務家教員担当科目	-
単位	2	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期
担当教員	笠　修彰						
授業概要	本講義では、精神保健福祉士が国家資格化される以前からの精神医学ソーシャルワークの発展と継承を踏まえ、精神保健福祉士の専門性を確立するための基盤となる。精神保健医療福祉に関する法律や制度の変化を学び、そこにおけるソーシャルワーク専門職である精神保健福祉士の存在意義について理解し、精神保健福祉士の視点や考え方、行動について学び、誰しもが心の健康を保ち、また不調を改善して自分の意思に基づく主体的な生活を送れるようなソーシャルワーク実践について考察しグループディスカッションを用いて理解を深める。						
授業形態	講義			授業方法	グループワークやディスカッションを取り入れる。		

学生が達成すべき行動目標	
標準的レベル	①現在の精神保健福祉士の基本的枠組み（理念・視点・関係性）と倫理綱領に基づく職責について理解することができる。 ②精神保健福祉士を規定する法律と倫理綱領を把握し、求められる機能や役割を理解することができる。 ③近年の精神保健福祉士の動向を踏まえ、精神保健福祉士の職域と業務特性を理解することができる。
理想的レベル	標準レベルに加え、本科目で学習した知識について他者に具体的に説明できる。

評価方法・評価割合		
評価方法	評価割合（数値）	備考
試験	80%	
小テスト		
レポート	10%	
発表（口頭、プレゼンテーション）		
レポート外の提出物		
その他	10%	授業に臨む姿勢や態度、積極性、参加意欲等

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21304J

学習課題（予習・復習）	1 回の学習目安（時間）
テキスト、配布資料をもとに授業で学んだことを振り返るとともに、授業外で調べたこと等をノートにまとめる。	4

授業計画	
第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	精神科医療による生活への影響
第 3 回	精神障害者の家族が置かれている状況
第 4 回	精神障害者の社会生活の実際
第 5 回	メンタルヘルスをめぐる新たな課題

第 6 回	精神保健福祉の原理が培われた足跡・過程
第 7 回	精神保健福祉士による実践の視野や視点
第 8 回	援助における関係性
第 9 回	精神保健福祉士法の理解
第 10 回	精神保健福祉士の職業倫理
第 11 回	精神保健福祉士の業務特性と業務指針
第 12 回	精神保健福祉士の職場・職域
第 13 回	精神保健福祉士の業務内容とその特性
第 14 回	まとめ① 本科目での学びを振り返り、総括する。
第 15 回	まとめ② 本科目での学びを振り返り、総括する。
テキスト	最新　精神保健福祉士養成講座５「精神保健福祉の原理」　中央法規　ISBN：978-4-8058-8256-6
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	授業内で提示します。
課題に対するフィードバックの方法	課題に関しては、次の授業の際にポイントを整理しフィードバックを行う。
学生へのメッセージ・コメント	絵指針保健福祉領域に興味関心を持って、様々な情報にアクセスし視野を広げること。これまでの社会福祉や精神保健福祉関連項目について、復習しておくこと。 ・精神保健福祉の歴史に関する基盤を学ぶ科目です。 ・わからない用語について自分で調べるなどの予習を行ってください。